maxell

ブルートゥース・ポータブルスピーカー

MXSP-BT04ATH

保証書付 Rev. 0.0

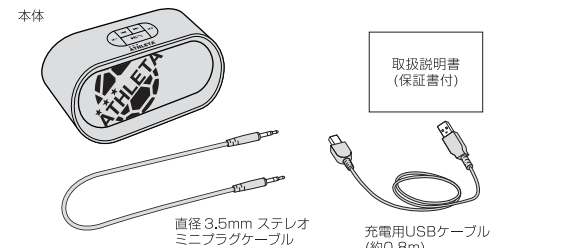
取扱説明書

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。また、この取扱説明書(保証書を含みます)は大切に保管してください。別紙で追加情報が同梱されているときは必ず参照してください。

梱包品の確認

本体

直径 3.5mm ステレオミニプラグケーブル

充電用USBケーブル (約0.8m)

1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- 製品を安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をご確認ください。
- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。
  また無断転載は固くお断りします。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

2 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

危険	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷*1を負うことがあり、かつ、その度合いが高いこと」を示します。
警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
⚠ 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性または物的損害*3が発生する可能性があること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに係わる拡大損害を指します。

絵表示の例		
	△	△記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	⃠	⃠記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

⚠ 危険

電源は USB ポート以外からとらないでください。
充電するときはパソコン等の USB ポートを使用してください。USB の定格を超えた他の電源を使用すると、発熱、発火、故障、感電、ケガの原因となります。 強制

直射日光があたる場所や、異常に温度が高くなるところへ置かないでください。
機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。 禁止

火の中に入れないでください。
火中に投下したり、加熱しないでください。発熱、発火、破裂、液もれの原因となります。 禁止

もれた液にさわらないでください。
本製品内部からもれた液体にはさわらないでください。また目に入ったときは、こすらずきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。 注意

⚠ 警告

水にぬらさないでください。
風呂場、台所、海岸、水辺、屋外では使用しないでください。また加湿器を過度にきかせた部屋や、雨・雪・水がかかる場所では特にご注意ください。火災、感電の原因になるおそれがあります。 みずぬれ禁止

修理や改造、または分解しないでください。
火災、感電、またはけがをするおそれがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。 分解禁止

異常時は USB プラグを抜いてください。
煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、水や異物が内部に入った場合、本製品を落下させた場合は、すぐに電源スイッチを切ってください。また、USB より充電中は USB プラグを抜いてください。そのまま使用すると発熱、発火、故障、感電などの原因になるおそれがあります。 USBプラグを抜く

誤った方法で設置・使用しないでください。
本製品をさかさまにしたり、風通しの悪い場所で使用しないでください。また通気性の悪い場所へ押し込まないでください。 禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。 充電を中止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にいれないでください。
発熱、発煙、発火の原因となります。 禁止

⚠ 警告

本製品の落下時、破損時は必ず販売店に点検を依頼してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になるおそれがあります。 点検を依頼

湿気やホコリの多い場所へ置かないでください。
加湿器のそばや調理台の近く、その他ホコリの多い場所に設置しないでください。回路がショートして、火災、感電の原因となるおそれがあります。 禁止

医療機器やワイヤレスの使用が禁止されている場所で使用しないでください。
電波が心臓ペースメーカーや医療用機器に影響を与える場合があります。病院内や鉄道の優先席などワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。 禁止

⚠ 注意

落下しやすい場所へ置かないでください。
ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因になるおそれがあります。 禁止

外部機器の接続には取扱説明書をよくお読みください。
本製品および各機器の取扱説明書をよく読み、ご使用ください。 注意

環境気温の急激な変化で、本製品に結露が発生する場合があります。
正常に作動しない場合は、電源を入れない状態でしばらく放置してください。 注意

小さなお子様の手が届かないように本製品を配置してください。 強制

5～40℃の範囲内で充電および使用してください。
この範囲外の温度での充電および使用は、液もれ、発熱、破裂、故障の原因となります。 強制

1ヶ月に一度充電してください。
完全放電すると充電できなくなる場合があります。 強制

USBプラグにホコリがつかないようにしてください。
定期的にゴミやホコリを取り除いてください。 USBプラグを清掃

ワイヤレス使用上のご注意

本機は 2.4GHz の周波数帯を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様ご相談センターまでお問い合わせください。
4. 本機は電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けています。したがって、本機の使用について無線局の免許は必要ありません。ただし製品の分解や改造、認証表示を消すことは禁止されています。
5. 病院内や鉄道車内の優先席など携帯電話やワイヤレス機器の使用が禁止されている場所ではワイヤレスを使用しないでください

3 特長

●簡単ワイヤレス接続 Bluetooth 搭載
…スマートフォンやタブレットなどとBluetoothで簡単接続、ケーブルを接続することなく音楽を聴くことができます。また、NFC に対応した機器の場合は、NFCマークの位置を揃えてかざすだけで簡単にペアリングすることができます。

●コンパクトながら迫力の低音を響かせるパッシブラジエーターを搭載
…底面にパッシブラジエーターを配置する設計を採用。フロントスピーカーとの干渉を抑え、クリアな中高音域を再生。設置面とのすき間にホーン効果が生まれ、低音域が増大します。

●バッテリー内蔵だから持ち出して使える
連続再生約6時間 ＊当社試験結果に基づく目安
…電源を気にせず、どんな場所へも気軽に持ち出せます。

●ハンズフリー通話対応
…スピーカー本体にはマイクを内蔵し、スマートフォンなどを手に持たずにハンズフリー通話が可能です。

●外部入力端子搭載
…直径 3.5mm ステレオミニプラグ端子を装備し、Bluetooth以外の機器の再生もできます。

4 Bluetooth対応機種

・A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応した Bluetooth 機器とワイヤレス接続して音楽を聴くことができます。
・HSP（Headset Profile）に対応したBluetooth機器とワイヤレス接続して通話することができます。
・HFP（Hands-Free Profile）に対応したBluetooth機器とワイヤレス接続して通話と着信操作ができます。
*接続するBluetooth機器の取扱説明書を参照ください。NFCに対応した機器の場合は、NFCに関する説明も参照ください。
*すべてのBluetooth機器との通信を保証するものではありません。

NFC 対応機種

NFC 搭載機種の対応状況については携帯サイトでご確認いただけます。
http://dvd.maxell.co.jp/keitai/speaker/mxspbt04

5 各部の名称と機能

＜本体前面＞

＜本体裏面＞

6 準備する

本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。

最初に使用する場合、また電池残量が少なくなった場合は、スピーカー本体の充電をします。

1. スピーカー本体とUSBポートを付属の充電用USBケーブルで接続します。

2. スピーカー本体の表示ランプが赤色の点灯となり充電を開始します。

3. 表示ランプが消えれば充電完了です。(充電時間：約3.5時間)

4. USBケーブルを取り外します。

電池残量が少なくなった場合は、赤ランプが点滅し発信音でお知らせします。

本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に1度は充電を行ってください。自己放電により完全放電し、充電できなくなる場合があります。

※充電のための USB ポートは、USB 規格に基づいた電源 DC5V/0.5A をご使用ください。

※本機の MicroUSB 端子は充電のための電源入力専用です。音楽再生やパソコンとの通信はできません。

7 Bluetooth接続で音楽を聴く

Bluetooth を搭載したスマートフォンや携帯電話の音声をワイヤレスで送信し、スピーカーより再生することができます。

(1) 初めて接続する場合

本機と初めてBluetooth機器を接続する場合には、以下のペアリングをおこなってください。以降はペアリングをせずに接続ができますが、近くに別の機器や電子レンジ等の送信源がある場合には接続されない場合があります。この場合は再度ペアリングをおこなってください。

●NFC による簡単ペアリング

NFC に対応した Bluetooth機器の場合は、スピーカーの電源がONの状態で、NFCマークの位置を揃えて1～2 秒間かざすだけで、Bluetoothのペアリングをおこなうことができます。

※Bluetooth 機器の NFC 設定が必要な場合があります。機器の取扱説明書をご確認ください。

●NFCに対応していない機器の場合は、下記手順にてペアリングをおこなってください。

1. スピーカー本体の電源スイッチをONの位置にスライドさせるとビープ音が鳴り、表示ランプが青色と赤色交互に点滅しペアリングモードに入ります。
※スピーカー本体の外部入力に他の機器を接続している場合は取り外してください。

2. Bluetooth機器の電源を入れ、Bluetooth接続に設定してください。
※設定については、機器の取扱説明書をご確認ください。

3. Bluetooth機器では検出した機器の一覧が画面に表示されますので、一覧の中から "MXSP-BT04" を選択し接続操作をおこないます。
スピーカーの表示ランプが青色にゆっくり点滅したらペアリング完了です。
※ペアリングモードは約 5 分間で終了します。ペアリングをおこなう場合は、再度 1 項から設定してください。
※Bluetooth 機器でパスワードの入力を要求されたら "００００" を入力します。パスワードは、パスコード、パスキー、PIN コードなどと呼ばれる場合があります。

4. Bluetooth機器の音楽を再生します。

5. スピーカー本体のボリュームと Bluetooth機器のボリュームでお好みの音量に調整してください。スピーカー本体のボリュームが最大になると発信音でお知らせします。
※Bluetooth通信の距離は約10mです。この範囲内で機器を設置してください。
※通信距離をこえたり、障害物にさえぎられた場合は通信が切れます。
※機器がプロファイル A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) に対応していない場合は、スピーカーから音声は再生されません。
※スピーカーのパスワードは "００００" に固定されています。パスワードが "００００"ではない Bluetooth 機器とは接続することができません。
※接続する機器の情報は 8 台まで内部にメモリーされ、再接続する場合にはペアリングなしで接続することができます。9 台以上ペアリングをおこなうと最初にメモリーされたペアリング情報が消去され、新たにペアリングをおこなった機器の情報が書き込まれます。
※SCMS-T 方式のコンテンツ保護に対応しており、SCMS-T 方式対応の携帯電話やワンセグ TV などの音声をスピーカーで聴くことができます。
ただし音声には若干の遅延が生じます。

機器がAVRCPに対応している場合は、スピーカー本体から以下の操作ができます。ただし機種によっては操作が異なったり使用できない場合もあります。

PLAY / PAUSE 切換 : 音楽再生中にマルチボタンを押します。
曲戻し / 曲送り : 音楽再生中に曲戻し / 曲送りボタンを押します。

6. 音楽を聴き終えたら、Bluetooth 機器の再生を停止して、スピーカー本体の電源を OFF にしてください。

(2) 本機がペアリング済みの場合

本機の電源を ON にすると、ペアリング済みのBluetooth機器と自動的に接続し発信音が鳴り表示ランプがゆっくり点滅します。
接続されない場合は、Bluetooth 機器の一覧画面から "MXSP-BT04" を選択し接続操作してください。

(3) 別の機器とペアリングをおこなう場合

接続済みの機器のBluetooth機能をOFFにしてからスピーカーの電源をONにしてください。その後青色と赤色が交互に点滅しペアリングモードに入りますので、(1) の 2項から実施してください。

8 その他の機器で音楽を聴く

ステレオミニジャックを搭載したオーディオ機器は、スピーカー裏面の外部入力端子 (Line in) に接続することで音楽を聴くことができます。

1. オーディオ機器とスピーカー裏面の外部入力端子(Line in)を付属のステレオミニプラグケーブルで接続します。

※Bluetoothを接続している場合は接続を切ってください。

2. スピーカー本体の電源をONにします。

3. オーディオ機器を再生します。
スピーカーより音楽が再生されますので、オーディオ機器のボリュームでお好みの音量に調節してください。

9 ハンズフリー通話をする

スマートフォンや携帯電話がHFP（Hands-Free Profile）および HSP（Headset Profile）に対応している場合は、スピーカーから通話をすることができます。

＜電話をかける＞

1. 機器とスピーカーをペアリングします。

2. 電話をかけます。

3. 機器で音声をスピーカー"MXSP-BT04"へ切換えます。
※切換えは、機器の取扱説明書を参照ください。

4. スピーカーと機器のボリュームで音量を調節します。

＜電話を受ける＞

1. 機器とスピーカーをペアリングします。

2. 着信時には、スピーカーのマルチボタンを押して電話を受けます。

＜電話を切る＞

通話中にスピーカーのマルチボタンを押すと通話が切れます。

10 困ったときは

電源が入らない	●スピーカーの電源スイッチを ON の位置までスライドさせてください。 ●内蔵電池を充電してください。
音が出ない	●スピーカーの音量を上げてください。 ●スピーカーを Bluetooth で再生する場合は、外部入力機器をはずしてください。 ●スピーカーを外部入力で再生する場合は、Bluetoothの接続を切ってください。 ●Bluetooth機器の音量を上げてください。 ●Bluetoothのペアリングをおこなってください。 ●Bluetooth接続機器が再生状態か確認してください。 ●音楽再生の場合は、Bluetooth機器が A2DPに対応しているか確認してください。
音がひずむ、とぎれる	●再生する機器の音量を下げてください。 ●再生する機器のバスブーストなどの機能を OFF にしてください。 ●電波の届く距離は約 10mです。また障害物で電波がさえぎられた場合は電波の届く距離が短くなりますので、障害物を取り除くかスピーカーと接続機器の位置を近づけてください。 ●周辺に無線や電子レンジなどの機器がないか確認してください。近くに設置されている場合は場所を移動してください。
電話の音声が聞こえない	●マルチボタンを押して受信してください。 ●Bluetooth機器が HFP、HSPに対応しているか確認してください。

11 仕様

実用最大出力	3W×2
スピーカーユニット	直径 40mm×2
音声入力	Bluetooth、直径 3.5mm ステレオミニプラグ
Bluetooth	Ver.2.1＋EDR、プロファイル A2DP/AVRCP/HFP/HSP、コーデック SBC、コンテンツ保護 SCMS-T、通信距離 約10m
電源	MicroUSB（DC5V/0.5A）
使用時間*	連続再生 約 6 時間
バッテリー充電時間*	約 3.5 時間
使用温度範囲	5℃～40℃
外形寸法	幅 138× 奥行き 70× 高さ 62mm（突起部含まず）
質量	約 260ｇ（本体のみ）
同梱品	直径 3.5mm ステレオミニプラグケーブル 充電用 USB ケーブル 約0.8m、取扱説明書（保証書付）

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。
＊使用時間及びバッテリー充電時間は当社試験結果に基づく目安です。
ご使用環境により異なります。

12 本機を廃棄する

⚠注意 日本国内での充電式電池の廃棄について

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身ではおこなわず、当社「お客様ご相談センター」にご相談ください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人 JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照して下さい。

13 保証とアフターサービス

■ 保証書に関して

保証書はかならず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上で、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から 1 年間です。

■ 本製品に関するお問い合わせ先

この商品は株式会社アスレタと日立マクセル株式会社の契約に基づき、企画・生産された商品です。
本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

■部品の保有期間について

本製品の部品の保有期間は 3 年です。

日立マクセル株式会社
〒102-8521
東京都千代田区飯田橋2-18-2
お客様ご相談センター
TEL.(03)5213-3525
FAX.(03)3515-8261
http://www.maxell.co.jp

無料修理規定

1. 万一製造上の理由により本製品が故障した場合は、この保証書を添えてお買い上げ店にお届けください。正常なご使用状態で購入後1年以内であれば、当社にて無料で修理または交換いたします。なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用はお客様にご負担願います。
2. 保証期間内でも次のような場合には有料になります。
  1）ご依頼の際、保証書の添付がない場合。
  2）使用上の誤り（取扱説明書、取扱上の注意事項以外の誤操作など）により生じた故障。
  3）修理・改造・分解などによる故障。
  4）お取り扱い上の不注意（落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、機器内部への水、砂、薬品の入り込みなど）、手入れの不備（カビ発生、チリ・ホコリ等）による故障。
  5）本体以外の付属品および消耗品。
  6）一般用途以外（例えば、業務用の著しい連続使用、船舶への搭載など）に起因する損傷。
  7）故障の原因が本製品以外（供給電源など他の機器）にあって、それを点検・修理した場合などの損傷。
  8）前記以外で当社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
3. 本製品の故障に起因する二次的な損害（期待した利益の喪失、精神的な損害など）の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

S19Q1406YR1